

## 「わくわく DS 研究会」2026年1月 会合録

日時：2026年1月31日（土）10:00～12:00

場所／方法：Zoomによる遠隔会議

出席者：脇阪、下里、萩原、鈴木

### 1. 近況報告・雑談

- 年末の出来事とAI動画議論：年末の出来事（岩石の特性など）についての共有があった後、AI動画の話題へ移行した。「High Bridge 陽一」の動画を例に、AIによるフェイク動画の作成、再生回数稼ぎの収益構造、および肖像権や信頼性の問題について議論が行われた。

### 2. 技術発表・デモンストレーション（担当：下里） テーマ：AIツールを活用したスライド作成と効率化

- ツールの紹介：下里氏より、以下のツールを用いたスライド作成手法が紹介された。
  - Enhancer for Google**：Chrome拡張機能。NotebookLMの機能を拡張し、全リソースの同期などを可能にする。
  - NotebookLM**：ウェブクローラー機能を用いてWebサイトやPDF、YouTube動画（URL経由）の内容を要約・分析するツール。
  - Google Apps Script (GAS)**：PDFをGoogleスライドへ自動変換するために使用。
- 活用事例とメリット：
  - YouTube動画の要約**：30分の動画URLをNotebookLMに読み込ませ、5分程度の要点にまとめることが可能。
  - スライド作成の効率化**：従来の手作業と比較し、30分程度の発表用スライド作成が半日程度で完了するなどの効率化事例が報告された。脇阪氏からも、自身の発表資料作成（月2～3回）の負担軽減に向けて導入意欲が示された。
- 技術的な詳細・デモ：
  - PDFからスライドへ**：PDFを読み込み、GASを用いて1枚ずつのスライドに分割・変換する手法が解説された。
  - コード生成のコツ**：Gemini等でコードを生成する際、具体的なライブラリやバージョン情報をプロンプトに含めることで、ユーザー環境に適合したコードが出力される点が共有された。
  - プランによる制限**：NotebookLMのノートブック作成数には、無料版（50個）と有料版（300個）で制限の違いがあることが確認された。
  - 編集操作**：スライド内容の変更操作として「ナノバナナボタン」という機能（またはツール内の特定のボタン）の使用について言及があった。

### 3. ビジネス・社会課題への応用に関する討議

- 政治分析への応用：政治候補者の政策をデータベース化し、AIで分析・整理することで、適切な人材選択に役立てるアイデアが出された。
- 企業でのAI活用（萩原氏）：萩原氏の勤務先における事例として、市場調査や企画立案、MCP（マシンラーニングコア）などのツール活用状況が共有された。ただし、AIはあくまで生成・調査に使用し、最終的なチェックは必ず人間が行うという運用体制が強調された。

- **コスト面の課題**：BigQuery等を用いた過去データの全量検索などは高額なコストが発生する可能性があるため、自動クエリ作成には慎重さが求められる旨が報告された。

#### 4. 次回の例会

- **日時**：2026年2月28日（土）10:00～12:00
- **予定内容**：萩原氏の業務や活動に焦点を当てた発表・討議を行う予定。

以上